

# 令和4年度 委員会活動方針（案）

## 1 総務委員会

- (1) 袋井市スポーツ協会の活動・運営を円滑にするため、定款や規程などの見直し、整備を行います。
- (2) 市民スポーツへの理解と拡大を図るため、スポーツ講演会や研修会を企画及び運営します。
- (3) 各委員会と連携を取り、袋井市スポーツ協会の組織強化を図ります。
- (4) 表彰規定・細則に基づいて袋井市のスポーツ振興に顕著な功績があった個人・団体を表彰します。

## 2 財務委員会

- (1) 商工会議所等各種団体と連携し、賛助会員、協賛企業の拡大を図るとともに、現状の賛助会員、協賛企業の維持、継続に努めます。
- (2) 自主財源の確保のため、指定管理の効率的運営管理とスポーツ施設におけるサービス事業等を積極的に推進します。
- (3) 80周年記念事業（式典・イベント等）開催に向けた予算の構築を図ります。

## 3 支部委員会

- (1) 14支部の充実した活動を支え、袋井市スポーツ協会との連携を図ります。
- (2) 地域の健康づくりや生きがいづくりなど、コミュニティセンター等身近な施設を利用しながら、スポーツの普及を図ります。
- (3) 各支部間の交流を図り、支部委員会の活性化に努めます。

## 4 競技部委員会

- (1) 各競技団体は袋井市スポーツ協会本部事業の推進に協力し、HPに大会・教室・活動状況を掲載します。
- (2) スポーツの普及と競技力の向上に努めるとともに、全国大会等の開催及び

指定選手を支援します。

- (3) スポーツ指導者等の資質向上を図るため、育成の支援及び研修会等を開催しライセンスの獲得を目指します。
- (4) 競技部・協会相互の連携を図るため、スポーツ交流会を開催します。
- (5) スポーツ人口の拡大のため、ニュースポーツ等のクラブの設立推進及び地域スポーツの連携に努めます。
- (6) 各種スポーツ施設の使用方法及び、補修・整備拡充を要望していきます。
- (7) 各競技団体の組織としての加盟（協会・連盟）を推進します。
- (8) 学校部活動と本協会の連携を密にし、スポーツ政策課を含め、部活動改革を推進していきます。

## 5 イベント企画委員会

- (1) 袋井市スポーツ協会感謝祭、さわやかアリーナフェスティバル等の企画立案をします。
- (2) 袋井市のゆるキャラ「フッピー」、三川地区「米茶メちゃん」を活用します。
- (3) 高校生・大学生・一般のイベントサポーターを拡充して参ります。

## 6 施設管理委員会

- (1) 施設利用者の安全安心を第一としてスポーツ施設の環境整備及び運営監理を行います。
- (2) 施設利用方法をホームページや市の広報誌を通じて PR し、各種団体及び市民の皆様が利用しやすい環境を築きます。
- (3) 袋井市から受託事業として指定された愛野公園・愛野公園野球場・テニスコート等のスポーツ施設の管理運営を行い、また第四期指定管理に向けた申請作業を確実にを行います。
- (4) 施設利用者の意見の把握の為、利用者アンケートを実施し施設の有効活用を行います。

## 7 広報委員会

- (1) スポーツに関する情報等を広く提供する広報誌作りを行います。
- (2) 袋井市スポーツ協会が有する様々な情報を協会の活動に直接的・間接的に関係する団体や組織の方々に対応し、応じた適切な情報発信を用いた広報活動を展開します。
- (3) 各団体の様々なスポーツ情報を集め、SNS やインスタグラムを利用してスポーツの魅力を伝えたりホームページで広く情報を提供します。
- (4) スポーツの日常化「する」「観る」「支える」を推進するとともに、袋井市スポーツ協会の事業と大会等の PR を行います。

## 8 スポーツツーリズム・ラグビー推進委員会

- (1) 「ラグビーワールドカップ 2019」開催の袋井市のレガシーとして、行政、地元諸団体、学校と連携し、ラグビーが身近なスポーツとして根付くよう、タグラグビーの普及活動や体験会等を推進、開催します。
- (2) 「ラグビーワールドカップ 2019」開催の袋井市のレガシーとして、近隣市町と連携して活動してまいります。また、岩手県（釜石市）、愛知県（東海市）等、ラグビーワールドカップ 2019 の開催地域との交流も図ってまいります。
- (3) 「ラグビーワールドカップ 2019」開催の袋井市のレガシーとして、全国からスポーツのメッカとして人が集まる市を目指し、クラウンメロンマラソンをはじめ、スポーツと観光を融合させたスポーツツーリズムを行政地元諸団体と連携し、推進していきます。

## 9 マラソン戦略委員会

- (1) コロナ禍において、これまで以上に安全面に配慮しながら魅力を打ち出すことが重点課題となっています。行政、地元諸団体、教育機関ならびに大会運営に関わる関係部署と一体となり、ランナーが安全・安心で参加できる大会を目指します。
- (2) 地域に愛されるマラソン大会にすることで、熱意あるサポーターの確保に努めるとともにコロナ禍においてはサポーターの安全を確保し、最低限の人数で運営できるよう工夫します。

- (3) 新型コロナウイルス感染症終息後に、スポーツツーリズムを通じて、地域ブランドの確立と観光客の増加のため、継続的な経済効果が期待できるような地域の活性化を図れるよう準備します。コロナ禍においては、リモートマラソンにて全国にクラウンメロンとともに袋井市の魅力を発信していきます。
- (4) エコパスタジアムを発着地点としたクラウンメロンマラソンの周回コースを、日本陸上協会の公認が受けられるよう企画・立案を行い、クラウンメロンマラソンの付加価値を高めていきます。
- (5) エコパスタジアムを発着とした新マラソン大会の企画・立案を行います。

## 10 コンプライアンス委員会

- (1) スポーツガバナンスコードを厳守しコンプライアンスの強化を図ります。
- (2) 袋井スポーツ協会の社員、組織員、コーチ、プレイヤーに対してコンプライアンス教育を提供しいじめ、虐待、嫌がらせ、差別（Bullying, Abuse, Harassment and Discrimination : BAHD）の認知、理解および対応について教育・啓発を行い、安全なスポーツ現場を整備する。
- (3) いじめ、虐待、嫌がらせ、差別（Bullying, Abuse, Harassment and Discrimination : BAHD）などに対する相談窓口の設置する。